

勝本浦で なんしよいん？



いよいよ、まちづくり協議会が設立されます！

勝本浦ではまちづくり協議会の設立に向けて、昨年6月に第1回幹事会が開催されました。幹事会では、集落支援員を選定し、住民向けアンケートを実施しました。アンケート結果をまとめ、設立準備委員会を開始したのは今年の9月です。新型コロナの感染拡大により活動がストップしてしまった時期もありましたが、のべ20回の会議の中で委員のみなさまに多くのご意見をいただき、まちづくり計画の策定までこぎつけることができました。コロナ禍で大変な時期にもかかわらず、ご協力いただいたみなさまに感謝申し上げます。

以下にまちづくり協議会について少しだけご紹介します。

- 名称 **勝本浦まちづくり協議会**
- テーマ **漁業+（プラス）観光のまちへ**
～うみ・まち・勝本浦 人が行き交うまちづくり～
- 設立日 令和3年1月1日
- 開所式 令和3年1月16日（土）9時30分～ 於、勝本地区公民館

詳しい内容につきましては、「なんしよいん？」の次号以降で紹介いたします。また、年明けにはまちづくり計画やアンケート結果などをまとめた勝本浦まちづくり計画書を各戸に配布予定です。

（※開所式は新型コロナ等の状況により人数制限等、規模を縮小して開催する可能性がありますので、ご了承ください。）

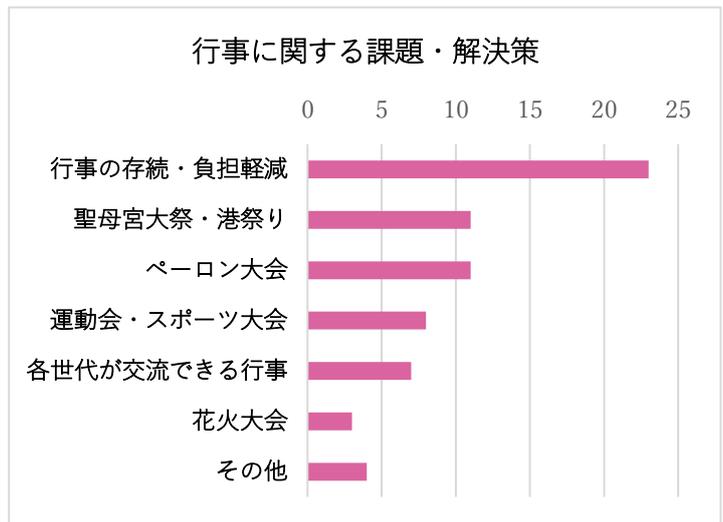
アンケート結果を紹介します～その3～

今回は社会・福祉に関する課題に関する回答を紹介します。社会・福祉に関する課題として、地域の伝統行事・イベントに関する意見が54件と多数を占めていました。次に高齢化・高齢者支援に関すること、少子化・子育て支援に関すること、子供や高齢者等が利用する公共施設に関する意見が挙げられました。グラフはご記入いただいたご意見を項目分けし、数値化したものから作成しています。

(1) 伝統行事・イベント

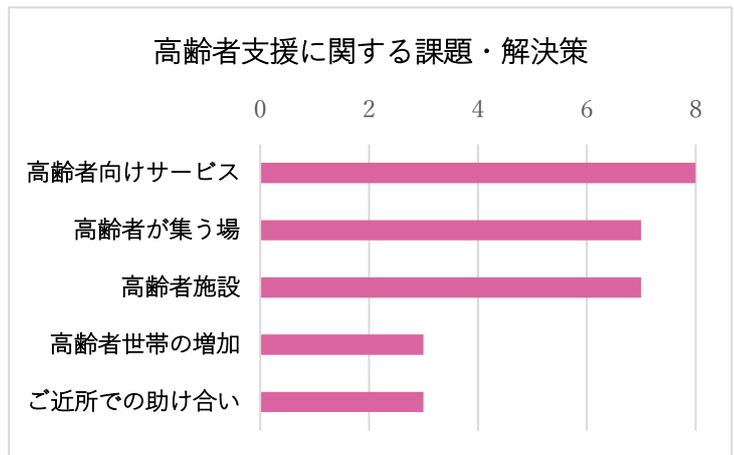
伝統行事や各種イベントについては、高齢化や人口減少により担い手が減少している現状や存続を危惧する声が多数上がりました。

聖母宮大祭、港祭り、ペーロン大会といった浦部全体で行う行事については、存続することを前提として内容や体制、日程等の見直しなど、現状に合った運営方法を提案する意見が多数見られました。各世代が交流できる行事を望む意見も見られました。



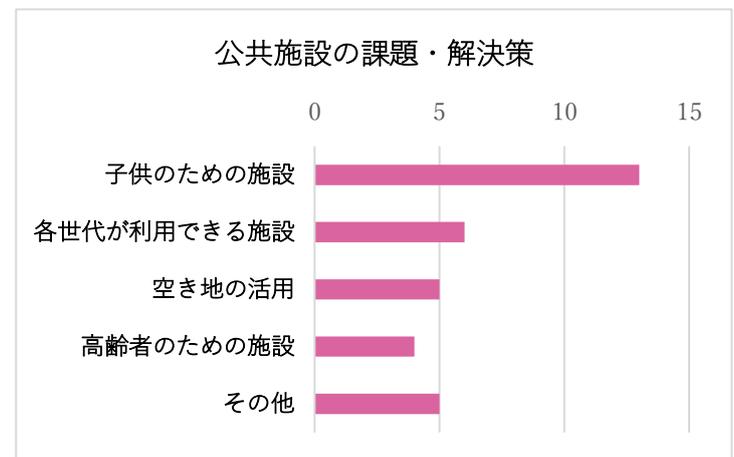
(2) 高齢化・高齢者支援

介護サービスを中心とした高齢者向けサービスは充実しているとする意見がほとんどを占めていましたが、老人会がない地区が増えていることから、老人会の再編や高齢者を対象とした場の形成など高齢者が集う場を求める意見が複数ありました。勝本浦周辺に高齢者施設がないことから、施設の建設を望む声が見られました。

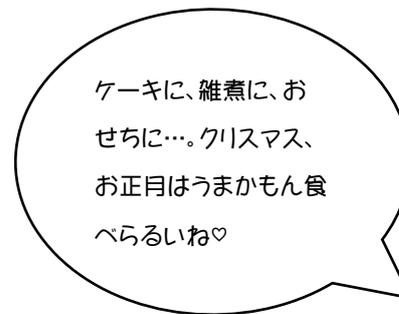


(3) 公共施設等

子供のための施設、特に公園の整備を求める意見が最も多く挙がりました。既存の公園が安全で楽しめる場所になることが望まれています。高齢者のための施設、各世代が利用できる施設についても一定数の意見がありました。空き地の活用も含めて、住民や観光客等が集える施設、楽しめる施設を求める意見が多くを占めています。



クリスマスにお正月
年末は忙しか！
もち準備せな！
まきずるめ作らな！



ケーキに、雑煮に、お
せちに…。クリスマス、
お正月はうまかもん食
べらるいね♡